

地域における生物多様性保全活動の実態

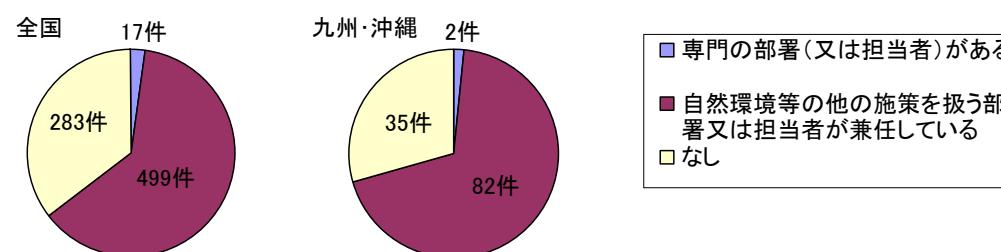
1. 概要

地域連携保全活動基本方針の検討に当たって、その基礎資料とするため、地域における生物多様性保全活動の実態について、地方公共団体に対するアンケート等により把握した。また、アンケート等によって収集した地域における生物多様性保全活動のうち、地方公共団体が積極的に関わるとともに、同基本方針の検討に当たって特に参考となるようなものについて整理した。

2. 生物多様性保全にあたっての地方公共団体の体制・施策

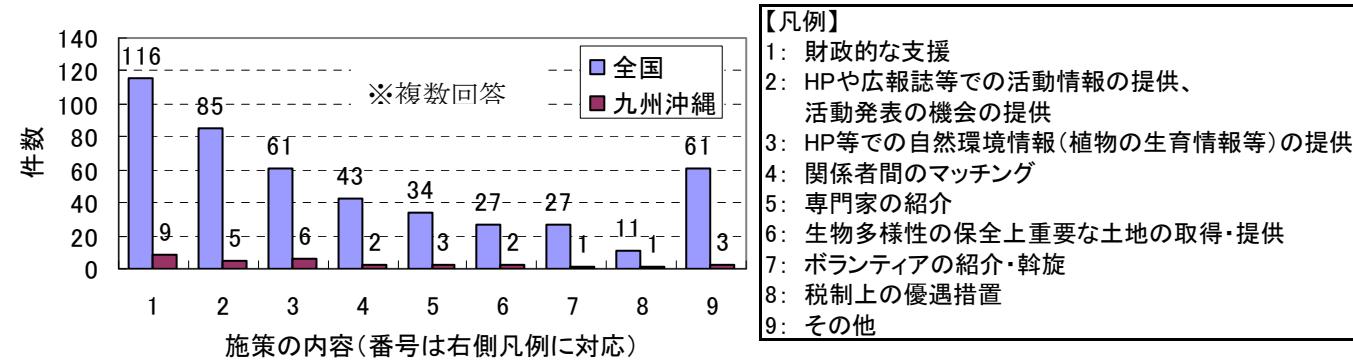
全国の地方公共団体（47都道府県、1750市区町村）にアンケート調査を実施した結果、1089通の回答を得た。現在までに集計した808件（うち九州・沖縄地方は120件）について、その結果概要を示す。

1) 生物多様性を扱う部署・担当者 ※有効回答数799件（うち九州・沖縄119件）



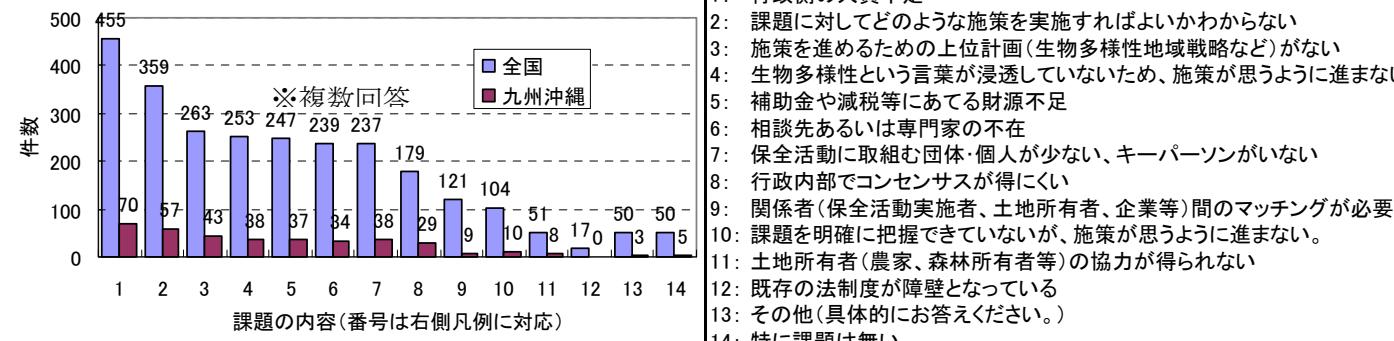
2) 地域における生物多様性保全活動を支援する施策

※施策が「有」と回答した地方公共団体161件（うち九州・沖縄地方16件）



3) 生物多様性保全の施策を促進するにあたって感じている課題

※有効回答数755件（うち九州・沖縄地方115件）



3. 地域における生物多様性保全活動の事例

1) なごみの里プロジェクト（熊本県和水町）

・・・大学や企業との連携（研究の場やCSR活動の場としての利用）

■取組内容

管理不足で荒廃する町有地に手を焼いていた町、研究の場や学生の環境学習の場として活用する意向があった大学、社会貢献活動の場等を求めていた企業・大学、3者の思惑が一致して包括協定を締結し、連携して、林道（歩道）の整備、棚田の維持管理、牛の放牧等、里地里山再生に取り組んでいる。



「環境学校」の開催（平成22年10月）

（出典：和水町HP）

2) 北九州市自然環境保全ネットワークの会（福岡県北九州市）

・・・生物多様性地域戦略との調和、都市における生物多様性の保全

■取組内容

市民・NPO、事業者、学識経験者及び市で構成される連携組織が「都市のなかの自然、自然の中の都市」の実現に向けて、エコツアーや支援、干潟の清掃、生きもの調査等を通して北九州市生物多様性戦略の推進・進行管理をおこなっている。



北九州市自然環境保全基本計画の推進体制

（北九州市自然環境保全基本計画概要版）

平成17年9月 計画策定、北九州市

3) 中津干潟の保全（大分県中津市）

・・・海と山のネットワーク構築、水産資源の保全

■取組内容

地域住民との連携と協力によるササヒビ（干潟面に数百mにわたり生垣状に竹を設置した定置網のようなもの）の復活を通して、中津干潟の環境・生態系の保全・中津干潟の公益機能の維持・強化を図り、また、ササヒビに使用する竹を近隣の竹林から供給することにより、里山環境を保全する効果（竹の繁茂の抑制）も得られている。



ササヒビ（ササヒビの先端にかけた網）

（出典：中津干潟保全の会HP）